



次世代へ**技術**をつなぐ**職場**

—グループの基盤が現場を支える—

鉄塔は、電力の安定供給を支える重要なインフラである。その機能を将来にわたって維持するには、定期的な補修と職人の技術が欠かせない。木更津市を拠点とする平世美装は、東京電力パワーグリッドから送電鉄塔の塗装工事を直接請け負い、工事成績で高い評価を得ている。ライフメンテホールディングスのグループ企業として、鉄塔塗装の技術継承と働きやすい職場づくりに取り組む。久保田悟社長に、人材育成と組織づくりへの考えを聞いた。



—インフラを次の世代へ引き継ぐために必要なことは

自然災害が相次ぐ中、電力をはじめとする生活基盤を守る仕事の重要性を改めて感じている。災害時の復旧に加え、平時から設備の状態を把握し、必要な補修を重ねることが重要だ。塗装には外観を整えるだけでなく、鋼材をさびから守り、設備の寿命を延ばす役割がある。

橋や道路、鉄塔などの老朽化が進み、維持・修繕の需要は今後さらに高まるとみている。次の世代が安心してインフラを利用できるよう、現場を担う人材を確保し、培ってきた技術を継承することが不可欠である。

—技術力を高め、顧客の信頼を築くために重視してきたことは

出発点は2次下請けの施工班であった。一つ一つの仕事に真摯（しんし）に向き合い、実績を重ねる中で、東京電力から元請け登録の打診を受けた。職人出身の経営者として現場で働く社員に寄り添ってきたことが、工事の品質と顧客からの評価につながったと考えている。道具を選ぶ際も価格だけで判断せず、職人にとって必要か、使いやすいかを重視している。私自身も可能な限り現場に足を運び、社員と同じ目線で話すよう心掛けている。顧客の信頼に応え続けるには、人材の確保・育成に加え、社員が長く働ける環境づくりが重要となる。鉄塔塗装は高所作業を伴い、緊張を強いられる仕事。そこに人間関係のストレスが重なれば、心身の負担はさらに大きくなる。

だからこそ、風通しの良い職場づくりを進め、年齢や経験にかかわらず社員に寄り添うことを大切にしている。安心して働ける環境があつてこそ、実務経験を積み、技術の研さんに励むことができる。人を大切にする姿勢が仕事の質を高め、会社の基盤になると考えている。

—グループの基盤を今後どう生かすか

当社は東京電力パワーグリッドを主要取引先とし、年間約400基の送電鉄塔の改修塗装を手掛けている。同社による塗装工事業者の総合評価では8年連続1位となり、現場で築いた信頼が継続受注につながっている。

一方、依頼を受けても人材や管理体制が整っていなければ、技術を十分に生かせない。グループの管理部門による採用支援や事務業務の共有化、工事収支の見える化、現場の支援体制強化が現場を支える土台となっている。こうしたサポートを受けることで、安全と品質を確保し、社員に無理を強いることなく、より多くの仕事に応えられる。

グループ各社がそれぞれの専門性を磨き、経営上の課題に協力して取り組むことで、インフラを守る力をさらに高めていけるのだと確信している。

代表取締役
久保田 悟

記事広告

特別連載

03

special feature

塗装で 美しい世の中に。



平世美装株式会社

〒292-0834 千葉県木更津市潮見4-14-8 TEL.0438-37-1035
<https://heiseibiso.co.jp>